

サステナビリティを中心とした中長期事業戦略の実行

中長期事業戦略

ブリヂストングループは、ビジョン「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」の実現に向け、サステナビリティを経営の中核に据えた中長期事業戦略の実行を進めています。中長期事業戦略の策定にあたっては、社会動向・モビリティ業界及びタイヤ業界の構造変化など、様々な角度から当社グループを取り巻く経営環境を分析し、当社グループへのインパクトを見極め、「変化をチャンスへ」という視点を軸に戦略を策定しました。

外部・社会環境の変化

- ・ 「激動」=アジャイルなマネジメントスタイルへ
- ・ 地政学的リスク=グローカル(グローバル×ローカル)経営の推進
- ・ 気候変動=サステナビリティを経営の中核に
- ・ 技術革新・DX=共創・イノベーション、ブリヂストン流DXの推進

モビリティ業界構造の変化

- ・ MaaS/CASEの加速、特にElectric - EV化の加速=サステナビリティ・モビリティの進化を見据えた「断トツ商品戦略強化」、タイヤセントリックソリューション、小売・サービス、モビリティソリューションの拡充
- ・ 新興OEMの台頭、OEMにおける水平分業化=業界構造の変化に対応するオペレーション及び組織体制の構築

タイヤ業界の変化

- ・ 新興国メーカーを含めた業界構造の変化

中長期事業戦略構想

